

## カナダ・オイルサンド開発事情



### 石油の確認埋蔵量にオイルサンド合成原油も 米国証券取引委員会が基準の改定へ

米国株式市場に上場している企業は、米国証券取引委員会(SEC)に財務データを提出する義務があります。

石油会社が提出する報告書には石油・天然ガスの確認埋蔵量が記載されており、広く引用されています。

「確認埋蔵量の正確な評価はエネルギー会社の財務状況を理解する上でも重要な部分」(SEC の Cox 委員長)です。

問題は「最後の改定が 1982 年という古い規則」(2008 年 6 月 27 日、Calgary Herald)に基づいていることです。

当時の「現在の技術」が今でも「現在の技術」とされています。

ようやく SEC が 6 月 26 日に規則の変更案を公表しました。

<http://www.sec.gov/news/press/2008/2008-122.htm>

「技術の進歩」および「他の採掘方法」によるものも確認埋蔵量に算入されます。

オイルサンド合成原油がその代表例です。

#### 例えば Total の

石油・天然ガスの確認埋蔵量は、2006 年末で約 111 億バレル(石油換算)、2007 年末で約 105 億バレル(石油換算)です。

規則が予定どおりに変更されれば 2008 年末の Total の確認埋蔵量は大きく増加します。

(Web 公開)「世界のエネルギーの話題」(2008年7月7日)

Total の前身 TotalFinaElf の子会社 Total E&P Canada が 2003 年に、アルバータ州での Surmont オイルサンド開発プロジェクトの 43.5 パーセントの持分を操業者の ConocoPhillips から譲り受けました。

TotalFinaElf が「カナダの石油開発に資本参加するのは初めて」(2003年1月6日、Reuters) と報道されました。

Surmontプロジェクトの「ビチューメンの可採埋蔵量は50~100億バレル」(2003年1月13日、Natural Gas Week)と報じられています。

次に Total はベンチャー企業の買収に向かいました。

### 手始めは

Deer Creek Energy です。

2005 年に Total E&P Canada が買収して子会社にしました。

当時、Deer Creek Energy は、アルバータ州の Joslyn オイルサンド開発プロジェクトに 84% の持分を有していました。

持分の残りは、カナダで石油、天然ガスを生産している投資会社 Enerplus Resources Fund が保有していました。

Total E&P Canada は 2007 年 11 月に、同プロジェクトの持分の 10%を国際石油開発帝石ホールディングスに譲渡しました。

最近、Occidental Petroleum が、Joslyn プロジェクトは「80億バレル以上のビチューメンの可採埋蔵量を有する」(2008年6月23日、The Daily Oil Bulletin)と説明しています。

Occidental Petroleum は、Enerplus Resources Fund から同プロジェクトの持分 15%を購入することが決まっています。

### 次は

Synenco Energy です。

(Web 公開)「世界のエネルギーの話題」(2008 年 7 月 7 日)

現在、Total E&P Canada が同社の株式を公開買付け中です。

Synenco Energy は、アルバータ州での Northern Lights オイルサンド開発プロジェクトの操業者ですが、「経営難で 5 月に同プロジェクトの操業を中断したまま」(2008 年 7 月 5 日、The Canadian Press)です。

このプロジェクトの持分は Synenco Energy が 60%、SinoCanada Petroleum(中国石油化工集团公司の子会社の中国石油化工国際石油勘探開発有限公司の子会社)が 40%です。

SinoCanada Petroleum が同プロジェクトに参加したのは 2005 年です。

このプロジェクトの「ビチューメンの埋蔵量は 15 億バレル」(2006 年 6 月 2 日、Platts Commodity News)と報じられています。

## ひとこと

日本の石油開発会社および中国の国営石油会社と手を組んだ Total のアルバータ州での次の動きに注目しています。

(YY)

\*\*\*\*\*

本レポートは、世界の 2500 紙以上の新聞、5500 紙以上のビジネス紙および業界紙、600 以上のニュースワイヤー(速報)/プレスリリース等を検索できるファクティバ(ダウ・ジョーンズ社のデータベースサービス)を利用して入手した多数の記事、レポートを比較、分析して執筆しています。(山崎由廣)